

## 確定拠出年金 基幹システムの運用を効率化

～「サーバー仮想化」の技術を導入し、お客様向けサービスの基盤を拡充～

損保ジャパンDC証券株式会社

このたび当社では、加入者向け提供資料作成を主な機能とする基幹システムに「サーバー仮想化」の技術を導入し、サーバー（コンピュータ機器）台数を削減するとともに、システム運用の大幅な効率化を実現いたしました。

### 1. 構築の背景

当社はおお客様のニーズに迅速かつ低廉なコストで対応するため、柔軟で利便性の高いオープン系の技術を基幹システムに採用するなど、さまざまなIT技術を活用してまいりました。一方、皆様のお引き立てによりおかげさまで加入者が着実に増加してきたことに加え、お客様向けサービスの機能追加に伴って増強してきたサーバーの運用負荷の増大が、今後も継続的にお客様のニーズにお応えしていくための課題となってきました。

### 2. 構築したシステムの概要

「サーバー仮想化」の技術には実績と安定性で優れるVMware社製品を採用し、性能や運用のしやすさなどで評価の高いHewlett-Packard(HP)社製のサーバー機器で稼働させています。VMware上の仮想サーバーはMicrosoft社のWindows環境を構築、運用の容易性と柔軟性を確保しています。

（当社システムの全体像は「図1」のとおり）

### 3. 効果

サーバーの台数を従来の5分の1に削減し、システムの運用の大幅な効率化を実現しました。また、消費電力も4分の1に低減し、地球環境問題（CO2排出削減）に対応しています。

当社のシステムは、確定拠出年金制度のレコードキーピングシステム「DCPARK」と、外部機関との接続や加入者向け資料作成等を行うシステムの2つの基幹システムで構成されておりますが、当社では「サーバー仮想化」の技術の導入に伴い、後者の基幹システムの名称を「PEGASUS（ペガサス）」といたしました。

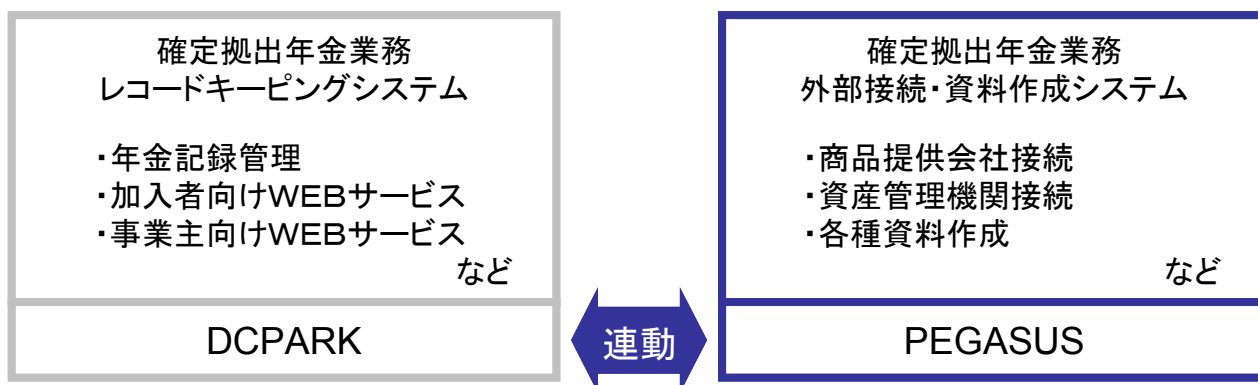
（名称については「図2」のとおり）

当社は、「DCPARK」と「PEGASUS」の2つの基幹システムを事業運営の基盤として、すでに高く評価いただいております各種サービスを今後も継続的にご提供していくとともに、サービスの改善と品質向上に努めてまいります。

以上

※今回の「サーバー仮想化」の技術導入にあたっては、兼松エレクトロニクス株式会社（本社：東京都中央区、社長：榎本秀貴）の技術協力を受けて構築、システムの運用を日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：初井勝人）に委託いたします。

(図1) 当社システムの全体像



(図2) 新システムの名称「PEGASUS (ペガサス)」



確定拠出年金事業を通じて広く社会に貢献するという企業理念のもと、お客様のゆたかな将来をサポートしていく当社が走り続けていく姿をシンボライズしました。柔らかなブルーのラインは、独創的なサービスを展開するためのシステム基盤の柔軟性と信頼性を表現しています。